

## 「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時 令和3年6月22日(火) 13:30～16:00

場所 奥出雲町立布勢小学校 家庭科室

対象 6年生 11名

指導者 学級担任、埋文センター職員

1. 主題 地元の遺跡について学び、金属鏡づくりと火おこしに挑戦しよう。

2. ねらい

- ・地元奥出雲町の遺跡についての学習をすることで、歴史に対する興味関心を高める。
- ・金属鏡づくりと火起こし体験を通じて、古代の人々の技術や生活を知る。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	準備物
1330-1340 (10分)	自己紹介、授業の目的の説明	講師の紹介、学習のねらいの説明	
1340-1400 (20分)	奥出雲町内出土土器に触れる。	土器の特徴や触れ方について説明。気づいた点は最後の感想で発表する。 事前に教科書や資料集などで、縄文時代～古墳時代の復習をしておく。	町内出土土器
1400-1410 (10分)	(金属鏡づくりの準備)		コンロ、鍋、金属鏡のインゴット、シリコン鋳型
1410-1500 (50分)	金属鏡づくり	鏡の作り方や古代の技術について理解する。 ※火の取り扱いや鋳型から外す際に注意	
1500-1515 (15分)	(火おこしの準備)	渡り廊下で行う。	火おこしセット
1515-1545 (30分)	火おこし体験	二人一組で行い、一度に五組程度行う。 ※火の取り扱い	
1545-1600 (15分)	片付け、体験の振り返り、感想文	授業全体を振り返り、学習した内容を整理する。 質問や感想を発表する	

4. 準備物等

- ・児童 筆記用具、タオル、雑巾、体操着、軍手
- ・センター 町内出土土器、鍋、インゴット、シリコン鋳型、火おこしセット、感想用紙、アンケート用紙
- ・学校 パソコン、プロジェクター、コンロ、水を入れたバケツ